

平成21年9月定例会 一般質問一覧表

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
1	川 上 博 司	<p>1 介護支援ボランティア活動について</p> <p>(1) 介護保険制度における地域支援事業として、市町村の裁量により介護支援ボランティア活動を推進する事業を行うことが、平成19年5月から可能になっている。本市においても、ポイント制度による介護支援ボランティア活動の導入を推進していくべきではないか</p> <p>2 在宅酸素療法者への支援について</p> <p>(1) 在宅酸素療法治療者に対し、酸素濃縮装置の使用に要する電気料金の一部を補助することを検討すべきではないか</p> <p>3 校園庭の芝生化について</p> <p>(1) 保育園、幼稚園、小学校の校園庭において、施工コストが安く維持管理が簡単で維持費が低廉というポット苗移植法の「鳥取方式」を採用した芝生化事業に取り組んでいくべきではないか</p>
2	宮 田 公 人	<p>1 消防行政について</p> <p>(1) 非常備消防の通信機器の更新整備については、平成20年9月定例会において消防長から「それぞれ実態を調査し、適切に今後検討をしていきたい」という具体的な答弁があったが、その後どのような調査、検討を行ったのか経過説明を求める</p> <p>(2) 個々の部によっては、非常時の連絡手段として携帯電話のインターネット機能を利用しているケースがある。このような機能を利用すれば、各団員に対しスピーディーな防災情報伝達が可能となる。こうした携帯電話による情報伝達についてどのような考えを持っているか</p> <p>2 子ども課について</p> <p>(1) 本年度の機構改革により、前社会福祉課の事務内容（子育て支援・助成、ひとり親家庭支援、保育・預かり、相談窓口）が子ども課に移管されたが、この6カ月で主としてどのような課題に取り組んできたのか経過説明を求める</p> <p>(2) 昨今、親による幼児・児童虐待の報道が後を絶たず、子どもを取り巻く環境は以前にも増して複雑多様化している。そうした中で、本市の現状はどうか。今後、主として取り組むべき課題をどのようにとらえているのか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
2	宮 田 公 人	<p>3 情報化について</p> <p>(1) 議会の会議状況を動画として庁内LANにより各職員のパソコン上に放映する方法や、県が開放しているサーバーを利用してオンデマンドで配信する調査研究が、議会改革検討会議にも報告されている。こうした動きを受け、議会においても情報化への研究、対応を進めつつある状況であるが、その後の経過説明を求める</p> <p>(2) 本市においても、市政だよりなど、市長の施政方針をホームページにおいて動画配信している。こうした動画による、情報の発信、収集が一般的となっており、今後、大容量のデータを取り扱う場合、サーバーの容量、回線のスピードアップが必須となると考えるが、情報管理においてどのような対応策を考えているのか</p> <p>4 吉備国際大学との連携のあり方について</p> <p>(1) 7月22日の全員協議会において、吉備国際大学への支援策の素案（①学生への奨学金 年額 6,000 万円程度 ②広報費補助金 年額 4,000 万円程度（平成 22 年度から 3 年間を目途に実施））が示されたところであるが、支援を行うにあたり、これまでの学生募集の実態、また大学側から今後 3 年間における具体的な学生募集・広報活動についてアクションプランが示されているのか</p> <p>(2) 「留学生 30 万人計画」とは何か、概要説明を求める</p> <p>(3) 市は、高梁学園の財務状況をどのように把握、分析、評価しているのか。さらに、本市を拠点とした吉備国際大学の今後の教育方針、経営方針、将来展望、課題について、相互の情報交換、共有ができているのか</p> <p>(4) 本支援策（案）は平成 22 年度から 3 年間の実施予定となっているが、市民に対する説明責任、施策実施にかかる透明性の確保という観点から、十分な情報収集と分析が必要であるとする。また、どのような方法、スケジュールで情報提供を行い、市民理解を得ようとしているのか。さらに、学園文化都市の推進、発展という観点から、本市から大学に向けての提言、提案も必要であると思うが、執行部の基本方針を問う</p>
3	丸 山 茂 紀	<p>1 小規模多機能型居宅介護施設の整備について</p> <p>(1) 中井町をはじめ、市民センターごとに 1カ所ずつぐらい高齢者が安心して暮らせるこの施設を市として早急に設置していただきたい</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
3	丸 山 茂 紀	<p>2 緊急経済対策補正予算について（'08年度分）</p> <p>(1) 昨年のリーマンショックによる100年に一度とも言われた不況にともなう地域活性化・生活対策臨時交付金の対象事業について、特にパソコン、自動車、テレビ購入については、全市的に広く多くの業者に平等にいきわたる方法をとることができたのか</p>
4	小 林 重 樹	<p>1 交通政策について</p> <p>(1) 高齢化の進む本市において、地域住民の足の確保は大変重要な課題である。本市において、福祉・医療バス、また、ふれあいタクシー等地域住民のための施策が取られているが、まだまだ全市的な取り組みに至っていない。</p> <p>そこで、本市の地域交通についての取り組みの現状と今後の計画について問う</p> <p>2 吉備国際大学の支援と関係について</p> <p>(1) 学園文化都市をめざす本市にとって、吉備国際大学の存在は大きく位置づけられ、経済的にも本市に多大な貢献をしているところである。しかし、一方では地方の大学において少子化による学生数の減少により定員割れ、そして経営の悪化に陥っている大学も少なくない。</p> <p>そこで、本市は吉備国際大学に対してどのような支援を行い、どのような関係を築いていくのか問う</p>
5	難 波 英 夫	<p>1 本市の基幹産業である農業にすべての農家が安心して励める農政を求める</p> <p>(1) 本年度産米価が大暴落と言われている。緊急対策を国に求めること</p> <p>(2) 本市農業振興の一番の近道である米の価格保障と所得補償を国に求めること</p> <p>(3) 今問題となっているF T A（日米自由貿易協定）には反対をすること</p> <p>(4) 有害鳥獣被害防止対策の拡充強化を求める</p> <p>① 奨励金、補助金の増額と認定基準の緩和など、思い切った施策を講ずること</p> <p>② サルの被害防止柵は全面囲い柵として農家の事業負担を10%以下とすること</p> <p>③ イノシシの駆除奨励金は、少なくとも7~8月の額を10月までに延長すること</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
5	難 波 英 夫	<p>2 若者の定住促進対策について (1) 若者向け市営住宅の建設と宅地造成の促進をすること</p> <p>3 第2次行財政改革について (1) 行革の基本は、市民の暮らしと福祉を向上させること、同時に職員が安心して市民全体に奉仕できることを基調とすることであると思うが、次の点について市長の考えを問う ① 地域格差の平準化 ② 給与制度の見直し ③ 事業評価システムの導入</p> <p>4 水道料金、加入負担金の統一について (1) 簡易水道料金は上水道並みに統一すること (2) 水道料金算定基準は水量を5tとすること (3) 簡易水道新規加入者負担金を上水道に統一すること</p> <p>5 飲用水供給施設事業補助金制度について (1) 小規模飲用水供給施設事業補助金の制度の後退をしないこと</p>
6	田 中 広 二	<p>1 高梁市地域情報化整備事業を問う (1) 総事業費に関する整備工事の現在の進捗状況と今後の見通しについて (2) 説明会において問題点となった、生活保護世帯、障害者等の利用料の減免について (3) 告知放送の検討経過について (4) なりわビジョン加入者が未加入の際における取り扱いについて</p> <p>2 成羽病院について (1) 耐震診断実施の経過について (2) 耐震診断の入札経過について (3) 高梁市へき地医療拠点病院と福祉医療連携協議会の検討結果は建て替えの方向性と伝えられているが、市としての方針を問う (4) 建て替えに係る財源について</p> <p>3 「ゆ・ら・ら」の今後のあり方を問う (1) 健康増進施設としての是非を問う (2) 平成22年3月31日に指定管理期間が満了する。新年度以降の指定管理について、市の考えを問う (3) 源泉確保に向けた方針及び予算について</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
7	内 田 大 治	<p>1 ケーブルテレビ網の整備と事業推進について</p> <p>(1) 西地区住民説明会を終え、「広報たかはし」にも説明状況を掲載しているが、不参加者に対する説明会及び高梁、有漢地区の説明会はどのようにするのか</p> <p>(2) 西地区住民説明会における問題点について、今後どのような手続き（協議）をもって解決するのか</p> <p>① 加入申込書の取りまとめについて</p> <p>② 高齢者世帯等の料金減免制度について</p> <p>③ 加入金、工事費無料化期間について</p> <p>④ 告知放送（防災情報）について</p> <p>(3) 情報、通信サービスのうち、行政サービス（行政放送）を充実させるためにどのような施策をするのか</p> <p>(4) ケーブルテレビ未加入者で難聴地域の世帯の対策はどのようにするのか</p>
8	三 谷 實	<p>1 一年を顧みた近藤市政の今後の課題と問題点を問う</p> <p>(1) 新総合計画と市政運営の重点的基本方針</p> <p>(2) 観光政策と歴史的まちづくりについて</p> <p>(3) 成羽高校跡地、高山小学校、高倉小学校の活用、課題について</p> <p>(4) 佐屋地区の問題について</p> <p>(5) 備中高梁駅のバリアフリー化について</p>
9	三 上 孝 子	<p>1 新インフルエンザ対策について</p> <p>(1) 具体的な対応を問う</p> <p>2 市長就任後約1年、市政の評価と市民本位の公約実現への目標展望は</p> <p>(1) 市長のマニフェストに掲げた市民にとっての重要施策の対応について問う</p> <p>(2) 市民合意が得られていない重要問題（吉備国際大学、高梁国際ホテル、「ゆ・ら・ら」）の契約見直しと今後の対応、情報の全面公開について</p> <p>3 子育て支援について</p> <p>(1) 中学校卒業（義務教育終了）までの医療費の無料化の早期実現を求める（市長の公約実践）</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
10	妹 尾 直 言	<p>1 行財政改革について</p> <p>(1) 行財政改革の進捗状況はどのようになっているのか</p> <p>(2) どのようなメンバーで、どのように進められているのか</p> <p>(3) 国の経済危機対策事業の予算がついたばかりに、行財政改革の意気込みが鈍っているのではないか</p> <p>(4) 市長、副市長、教育長そして議員の報酬の減額は実施されたが、職員だけはそのまま給与の減額はしないのか</p> <p>2 高梁学園について</p> <p>(1) 7月22日の全員協議会での高梁学園からの説明は、ただ単に経営が厳しいというのを聞くだけだったのか (経営が厳しいのは、高梁学園だけではない)</p> <p>(2) 支援(3年間で3億円)は無条件であるのか。何らかの条件があってしかるべきではないか</p> <p>(3) 学園都市高梁の根本的あり方を問い直し、第三者を入れた研究・協議機関を設置することが必要ではないか</p>
11	田 島 肇	<p>1 中山間地域等直接支払制度について</p> <p>(1) 平成17年度から5年間継続、延長された取り組みが本年度をもって終了することから、国・県に対して引き続き制度を継続するよう要望すること</p> <p>(2) あわせて、食料自給率向上、地産地消、自然環境の保全などの観点から、採択要件である傾斜度の基準及び協定事項の活動内容を緩和し、中山間地域全体が取り組みやすいものとするよう要望すること</p> <p>(3) 国・県への要望について、市は具体的にどのような手順で行うのか</p> <p>2 米作に係る市の取り組みについて</p> <p>(1) 近年、国内において小麦の生産が減少し、農業共済においても加入者がいないという現状の中、今米粉を利用したパン作りが浮上している。 米作が衰退する中、国では米粉を活用する政策が取られようとしているが、高梁市は農業振興の一端として、米作についてどういう施策を考えているのか</p> <p>3 インフルエンザに係る本市の取り組みについて</p> <p>(1) これから発生の本番を向かえるにあたり、子育て支援の立場から18歳未満の子ども予防接種料金の負担軽減措置は具体的にどのように取り組むのか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
12	大 森 一 生	<p>1 新総合計画と近藤市政の1年を振り返って</p> <p>(1) 新総合計画における高梁市の将来像、ビジョンを再度問 う</p> <p>(2) 近藤市長の掲げたマニフェスト及び所信表明の進捗状況 と自己採点について</p> <p>2 高梁市における教育・スポーツ振興について</p> <p>(1) 本市において、スポーツ少年団等の活動がもたらす社会 的効果、経済的効果をどのように認識しているのか</p> <p>(2) その活動がもたらす効果を鑑みるならば、持続可能性の あるものにするためには、人材育成など多方面から今以上 に支援すべきではないか</p> <p>3 新型インフルエンザ対策について</p> <p>(1) 本市の新型インフルエンザ対策の状況について問う</p>